

汪兆謙

Jhao-Cian Wang

台湾国立台北芸術大学 大学院劇場芸術演出コース修士 台湾阮劇団 (Our theater) 設立者 芸術総監督兼団長。実験劇場「新嘉義座」創立者。国立台北芸術大学在学中に故郷の嘉義で阮劇団を旗揚げ。以来、台湾中部の嘉義地区において演劇創作と演劇教育を推し進める。近年は「大衆文化」を創作の主軸とし、「大衆文化と現代劇場」のリンクの可能性を模索。主な創作・演出作品に『マクベス：paint it black』、『城市恋歌進行曲』、『愛銭 A チャチャ』、ドキュメント演劇計画『使用禁止』、2018年 エジンバラ演劇フェスティバル招聘作品の『家の妄想』など。芸術と社会の連結のスタイルを積極的に探究する。

台湾国立台北芸術大学 演劇修士 演劇創作コース修士課程修了 現在、台湾の多くの大学にて戯曲創作の講師を務める。戯曲、小説、随筆と様々なスタイルの文章を執筆。数多くの受賞歴を持つ。執筆作品に随筆『煙火旅館』(2002)、短編小説集『少女の夜』(2005)、映画シナリオ『花蓮の夏』(2006)など。近年の舞台戯曲作品には『陳明章のラジオ』(2015)、『家の妄想』(2015)、『双城紀実』(2016)、『城市恋歌進行曲』(2017)、『禁区』(2017)、『使用禁止 2.0』(2017)、2018年 エジンバラ演劇フェスティバル招聘作品『水中の家』(2017) など。

許正平

Cheng-Ping Hsu



7/18(水)～22(日) ワークショップ

7/18(水)～7/20(金) 18:00～22:00

7/21(土) 13:00～17:00

7/22(日) 13:00～15:00

15:30～16:30 創作発表

【定員】10名程度(応募者多数の場合は選考あり)

【対象】実演家として舞台創作に携わる方

【参加費】5,000円(発表を含め5日間) * 協会員4,000円

ワークショップ見学 500円(1回)

ワークショップ参加条件: 全日程参加

◎ワークショップ内容…… 2015年、阮劇団はヨーロッパのコンテンポラリードキュメンタリー演劇の手法と台湾本土のドキュメンタリー映像を融合させたスタイルで、劇団初のドキュメント演劇作品『家の妄想』を発表。以降、他劇団や演劇フェスティバルとの共同創作で『禁区』、『使用禁止2.0』などのドキュメント演劇作品を製作。台湾の辺境地や社会弱者群など、今まで主要メディアに注目されることのない人々の日常的空間を題材に取り上げ、それらへの社会の関心を喚起することを目指している。同時にこのプロセスや成果をもとに国境を越え、アジアでの「ドキュメント演劇」の可能性と新たな展開を模索している。今回の東京ワークショップでは、「見えない東京」をテーマに参加者と個人の生命や日常の経験と地方都市の課題及び歴史的観察をドキュメント(写真、映像、食べ物、歌、ニュース報道或いは事件)を媒体として紐付けし、上演方法とスタイルを共に模索しながら、集団創作による「ドキュメント演劇」の実験作品を作る。

7/17(火) レクチャー① & シンポジウム

【参加費】500円 / 協会員無料

18:00～19:00 レクチャー①「台湾南部の演劇の現状」

講師：汪兆謙 / 許正平

19:00～21:30 シンポジウム「これからのアジアの演劇について」

講師：汪兆謙 / 許正平

パネラー：流山児祥(流山児☆事務所)、大橋宏(舞台演出家、劇団DA・M)

7/22(日) 発表会 & レクチャー②

【参加費】500円 / 協会員無料

15:30～16:30 創作発表

17:00～18:30 レクチャー②「ドキュメント演劇について」

講師：汪兆謙、許正平

【お申込方法】

ワークショップ▶メールにて、①お名前(フリガナ)②連絡先(電話番号、メールアドレス)③年齢④略歴をお送りください。

レクチャー① & シンポジウム / 発表会 & レクチャー②▶参加希望日(7月17日または7月22日)、お名前とご連絡先を

問い合わせ先▶080-3152-1182(柏木) jda.iad.info1@gmail.com

ワークショップ申込締切 7月6日(金)